

〔同志社中 わくわく理科〕

2億年前の日本海溝の

メラングジュ堆積物を観る！

(案内人：なべやん)

<日時> 2014年7月14日 (月)

<集合> JR「京都」駅中央改札口前 午前9時

<解散> JR嵯峨野線「保津峡」駅改札前 午後3時頃

<行程> JR「京都」駅—(嵯峨野線)—「馬堀」駅下車—(保津川の左岸へ)—請田神社—亀岡断層見学—メラングジュ(泥質岩中のチャートブロック)観察—不動チャート(昼食、ここではチャート層と泥質岩の境界域の地層(三疊紀中期)が観られる)—JR「保津峡」駅<解散>

**<持ち物> お弁当、飲み物、軽食(おやつ、行動食)、雨具、筆記具、交通費、元気な体
(当日、詳細な資料を配布します)**

**<服装> ハイキングがしやすい服装、歩きやすい靴、
・あれば便利なもの→カメラ、双眼鏡(ついでに野鳥も観ます!)、地図ほか、常備薬**



メラングジュの露頭



侵食で形成…保津峡溪谷

今回の「わくわく理科」では、「保津川下り」や「トロッコ」で有名な「保津峡」の地質についての現地見学会を行いました。

小雨模様の天気でしたが、中学1年～3年までの25名ほどの参加者があり、亀岡盆地と保津峡を形成した亀岡断層の現場や保津峡の成り立ち、保津川の侵食力、周囲の自然などについて現地で学習しました。



保津川を渡ったところに何とキノコの女王
「キヌガサタケ」発見!
強烈な臭いで観察どころではなかった?
走って逃げたのは誰!? とても珍しいキノコ。



亀岡断層の露頭。崩壊しやすくコンクリで補強されている。。



保津川右岸をみると、亀岡断層の位置がよくわかる。右側が亀岡盆地側で落ち込んでいる。。



ここはタケニグサが目立つルート。葉の造形美に感嘆の声。茎が竹に似る!?



中期ジュラ紀の泥質岩に三畳紀～ジュラ紀前期の層状チャートのブロックが入り込んでいる。まさしくメレンゲ、いやメラランジュ堆積物。



1億5千万年前の日本海溝で起こった壮大なドラマに唖然。



ときどき通過するトロッコの乗客と手を振って交流も。



「不動岩」から亀岡側をみると立派な「V字谷」。水の侵食力に驚愕！



ほぼ直立している層状チャート。もちろん堆積した三畳紀の時代は水平に堆積。

3センチほどの規則的な単層が重なるが、堆積速度は1000年に1ミリ。3センチの地層は3万年の時を閉じ込めている。



チャート層の下部は砕屑岩との境界。珪質層に黒色頁岩の薄層が入り込んでいる。

チャート層の上部境界は、珪質層自身が泥質化する。



保津川では「保津川下り」の船が目の前を・・・。
昔はこの船を嵐山から綱で引いて上流に上げたとか。